

ほっく-障がい者スポーツ基金

2021年度 寄付先活動報告

2021年度寄付先について

2020年度のSDGs(パラスポーツ応援)私募債発行合計額は7億4千万円となり、2021年度は140万円を寄付しました。寄付先の選定に際しては「ほっく-障がい者スポーツ基金選定協議会」にて寄付目的に関する2つのカテゴリーを設定し、次の7先に決定しました。

カテゴリー1

世界を目指す選手の応援

岩本 啓吾 選手
〈ノルディックスキー〉

加藤 大雅 選手
〈柔道〉

柴田 真聖 選手
〈ノルディックスキー〉

田中 統大 選手
〈柔道〉

田中 恵 選手
〈デフサッカー〉

カテゴリー2

普及・振興活動への支援

公益財団法人
北海道障がい者スポーツ協会

一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会

岩本 啓吾（いわもと けいご）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 脳性まひ障がい
- ・競技 ノルディックスキー

2. 寄付金の使い道

- ・スキー用品代、オーバースーツ代、海外保険加入代等

3. 活動の成果

- ★2022北京パラリンピック
クラシカル20キロ 13位、ミックスリレー 7位 等
- ★ワールドカップフィンランド大会
クラシカル10キロ 8位、スプリントフリー1.6キロ 16位等
- ★さっぽろスノーフェスタ
クラシカル3キロ 1位 他多数の大会に出場

4. 今後の活動予定

今後は4月～10月までは、陸上トレーニング、合宿を行います。
11月～3月はスキー合宿、国内大会、海外のワールドカップに参加する予定です。

強化指定B選手



柴田 真聖（しばた まさきよ）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 二分脊椎症
- ・競技 ノルディックスキー

2. 寄付金の使い道

スキー用品購入、フィンランド遠征に伴う宿泊代、
スウェーデン遠征に伴う用具運搬費

3. 活動の成果

- ★W P N Sワールドカップ遠征（フィンランド）
5キロ 26位、800メートル 24位、10キロ 19位
- ★雪上強化合宿（大滝・旭川）5キロ 11位、2.5キロ 3位
（札幌・大滝）3キロ 3位
- ★世界選手権遠征（スウェーデン）18キロ 13位 等

4. 今後の活動予定

2023年4月 北海道旭岳 残雪合宿に参加。
2025年の世界選手権で入賞、2029年の世界選手権で表彰台、
2026年冬季ミラノパラリンピック出場、
2030年冬季札幌パラリンピック出場・表彰台を目指しています。

強化指定C選手



田中 統大（たなか すばる）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 先天性感音性難聴
- ・競技 柔道

2. 寄付金の使い道

コロナの影響による大会の中止等のため記載する項目なし。

4. 今後の活動予定

今年度は大会が開催されるため、積極的に活動していきたい。

日本代表選手



田中 恵（たなか めぐみ）選手【室蘭市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 聴覚障がい
- ・競技 サッカー

2. 寄付金の使い道

4/27～5/19デフリンピック旅費等

3. 活動の成果

- ★2022年3月 デフサッカー女子日本代表候補合宿 茨城県
- ★2022年4月 デフサッカー女子日本代表候補合宿 千葉県
- ★2022年5月 ブラジルデフリンピック出場 ブラジル

VSケニア 12-0 ○

VSポーランド 2-5 ●

VSアメリカ 0-1 ●

VSブラジル 棄権

※コロナ感染症の陽性者が増えたため、日本選手団の命と安全を最優先に考え、日本は全競技での試合を全て出場辞退。

4. 今後の活動予定

次回は2025年日本でデフリンピックが開催されます。
北海道からもデフリンピックの存在を広める活動をしていきたいです。

日本代表選手



©日本ろう者サッカー協会

公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 活動の概要

北海道における障がいのある人のスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じた体力づくりや仲間づくりによる社会参加を啓発するとともに、健康で生きがいのある地域社会の実現に努め、福祉の向上と健全な社会の発展に寄与することを目的として活動。

2. 寄付金の使い道・活動の成果

オリンピック・パラリンピックと同様に、国体終了後には全国障害者スポーツ大会が開催されますが、令和4年度については、栃木県で「第22回全国障害者スポーツ大会」が行われました。

当協会では、例年、北海道選手団を開催地に派遣する事業を実施していますが、団体競技については、全国6ブロックの予選会において優勝した代表チームが出場することと定められており、本年はバスケットボール競技の北海道・東北ブロック予選会を北海道（北広島市）で開催しました。

北海道でのブロック予選会は、平成15年以来の開催となり、コロナ禍ということもあって、参加を辞退するチームも多くある状況ではありましたが、北海道、札幌市、秋田県から男女別にそれぞれのチームが参加して、全国大会の出場をかけて、二日間に渡りひたむきなプレーを展開していただきました。

優勝については、秋田県（男女）という結果になりましたが、本大会の開催にあたっては、ほっくー基金を開催費用に充当させていただき、北海道、札幌市における団体競技の活性化や日々のスポーツ活動における選手のモチベーション向上、知的障がい者のバスケットボール競技の認知度を拡充する事業として、実施することが出来ました。

3. 今後の活動予定

- 障がい者スポーツ大会の開催（はまなす車いすマラソン、夏季冬季北海道障がい者スポーツ大会、北海道身体障がい者アーチェリー大会、北海道障がい者水泳大会、北海道障がい者卓球競技大会、北海道身体障がい者ゲートボール大会、北海道障がい者ボウリング大会）
- 全国障がい者スポーツ大会の北海道選手団派遣事業の実施
- スポーツ教室開催、指導者養成事業の実施
- 北洋銀行スポーツ応援事業・障がい児者スポーツ団体助成



一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 活動の概要

札幌市内の障がい者に対するスポーツの普及と振興を図り、障がい者がスポーツを通じて体力の維持向上と、互いの交流を深めることにより障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

2. 寄付金の使い道・活動の成果

- ◇ 令和4年7月・12月、令和5年3月スポーツ協会だよりの発行
- ◇ 令和4年7月 札幌市身体障がい者ボウリング大会
- ◇ 令和4年8月 障がい者スポーツクラブ育成 助成金
- ◇ 令和5年3月 障がい者スポーツ指導員スキルアップ研修会

3. 今後の活動予定

- ◇ 障がい者スポーツの普及・啓発
- ◇ 障がい者スポーツの助成・育成
- ◇ 障がい者スポーツの指導者養成
- ◇ 障がい者スポーツの大会開催・派遣

